

令和7年度 三重郡人権同和教育研究協議会研究発表会

開催日	会場	研究主題
11月21日(金)	川越町立川越幼稚園	自分も友だちも大切と思える心地よさ ～子どもの思いに寄り添う教師の見方・捉え方～
12月5日(金)	朝日町立朝日小学校	人権尊重の心を持ち、差別をなくそうと行動 する子を育てる

川越幼稚園

川越幼稚園では、「自分も友だちも大切と思える心地よさ」を研究主題に掲げ、子ども一人ひとりのありのままを大切にする保育に取り組んでいます。子どもが安心して過ごせる環境づくりや、自己肯定感を育む関わりについて、日々の保育実践を通して研究が進められてきました。

保育の中では、子ども同士の関わりや言葉のやりとりを丁寧に捉え、互いの思いを受け止め合う経験が積み重ねられています。教師の温かな声かけや寄り添いを土台に、子どもたちが主体的に活動に向かう姿が大切にされている点が印象的でした。こうした実践は、安心感のある園生活が子どもの育ちにつながることを示すものといえます。

【川越幼稚園公開保育】

学級(教室)	担任
4歳児 うめ組	矢田 佳菜子
5歳児 きく組	倉田 実季

朝日小学校

朝日小学校では、人権教育を大切にしながら、子ども一人ひとりが安心して過ごし、自分の思いや考えを表現できる学びの場づくりに取り組んでいます。研修会では、「なかまづくり」を軸に、互いの違いや思いを受け止め合い、認め合う関係をどのように育てていくかについて、学校としての考え方が示されました。

公開授業や協議を通して、子どもたちの姿をもとに、教師の関わりや言葉かけの工夫について意見が交わされました。子ども一人ひとりの背景や思いに目を向けることの大切さや、安心して自分を表現できる学級づくりの在り方について、改めて考える機会となりました。

【朝日小学校公開授業】

学年	単元名	授業者
2年	「友だちせっけい図」	古橋 元
4年	「だれもが生き生きとくらせる社会を」	野呂 郷太
6年	「自分ごとで考える～あなたは どうする～」	服部 有紀